



# 杉山たかのり ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 Tel・Fax35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログ・ツイッター [杉山たかのり](#) フェイスブック [杉山孝教](#) で検索を

西宮市議会3月定例会に続き、西宮市長選挙・市議補欠選挙が行われました。遅くなりましたが、3月議会での杉山たかのり議員の一般質問（3問）を順次紹介します。

## 杉山議員が市の過労死ライン残業を告発



西宮市役所における職員の働き方について質問する。超過勤務の実態についてです。

神戸新聞が2015、2016年度の県内自治体の残業時間についてアンケートを行い、その結果が昨年12月に公表しています。県内自治体のうち、18自治体で年間残業時間が720時間（月平均60時間）を超えた職員がおり、うち県や神戸市など7自治体で年960時間（過労死ラインとされる月平均80時間）を超える職員もい

た、と報じています。西宮市は、2015年、16年度とも年間720時間以上が1人ずつとなっています。選挙管理委員会の職員や教員の長時間労働も大きな問題となっています。

昨年、3月議会で、私は職員定数条例の改正についての討論で、年間超過勤務時間が1000時間を超える職員が2013年度で8人、2014年度7人。月60時間年間720時間では2013年度39人、2014年度では23人。過労死ラインといわれる月80時間を1年続ければ960時間ですから、これを超えるような実態、あるいは月によっては過労死ラインを超えるような実態がありました。

西宮市では、2014年度から超過勤務の縮減、年次休暇の取得促進の取り組みをすすめており、この間、一定の改善がされてきた結果が神戸新聞での数字でしたが、まだまだ過労死を生じさせるような状況が残されています。

### 質問

- ① 西宮市役所における超過勤務、長時間労働の実態についてきく。
- ② 2014年度から超過勤務の縮減を進めるなどの取り組みを行っていますが、超過勤務

に対する市の考え方を改めてきく。

年間 360 時間以内、一ヶ月 45 時間以内という時間外労働の上限を定めた大臣告示（1998 年に出した労働省告示第 154 号）について、西宮市の認識は。

大臣告示の年間 360 時間以内、一ヶ月 45 時間以内を市の目標とすべきではないか。

- ③ 西宮市役所では正規職員が減り、非正規職員への置き換えがすすみ、約 3 割が嘱託、臨時などの非正規職員となっている。2020 年度より嘱託職員や臨時職員など非正規雇用の職員については「会計年度任用職員制度」に移行することとなるが、現時点での考え方は。

## 過労死ライン容認の目標は改めよ！

右表のように、西宮市では改善されつつあるとはいえ、過労死ラインと言われる残業が月 100 時間超、または複数月 80 時間超が 50 人以上。市職員の健康を脅かしています。

西宮市は「月平均 60 時間超の超過勤務解消を目標」として「職員への意識づけなど積極的に取り組んでいる」と、また「大臣告示や過労死ラインが健康障害のリスクが非常に高くなることも認識している」と答弁しました。しかし、超過勤務時間月平均 60 時間ということは、月別なら 100 時間でも 200 時間でも良いということになり、超過勤務時間の月上限を決めなければ、過労死を容認することになると批判し、改善を求めました。

杉山議員は予算特別委員会総務分科会でも昨年総選挙時、選挙管理委員会職員の 10 人全員が月 100 時間超、うち 2 人は月 170 時間という実態も示し改善を求めました。市はようやく「検討する」と答弁しました。

この質疑を受け、他の議員からも長時間労働への批判の声が上がっています。

また、会計年度任用職員については市は、「国から制度運用などが示されていない。情報収集に努め、市民サービスに対する責任とその質の確保が図られるよう詳細な内容が示され次第、具体的な制度設計に着手したい」との見解を示しました。

以上

### 西宮市長選挙・市議補欠選挙

### 市長は石井登志郎氏が当選

今村市長辞職にもない、4月8日告示15日投票で市長選挙・市議補欠選挙（欠員2）が実施されました。日本共産党推薦の上田さち子市長候補、日本共産党公認のひぐち光冬市議候補は、それぞれ4位、3位となり、当選には至りませんでした。

日本共産党市議団は、4月24日緊急課題（第二庁舎整備、中央体育館建替、UR借り上げ市住訴訟）について申し入れ書を石井市長に提出、5月7日に懇談をする予定です。